

正福寺報

平成27年春彼岸号

臨濟宗 円覚寺派
住職 松原 行樹
TEL 045-811-3800
FAX 045-811-6304
shouhukuji@nifty.com

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町340

<http://shouhukuji.com/>

梅花、雪に和して香ばし

正福寺住職 松原行樹 ぎょうじゆ

「梅花、雪に和してかんばし」

境内の梅が咲き始めました。

この梅の花と雪を強調することなく、お互いに調和して、梅の花は良い香りを放っている、ということでしょう。

私は少し前まで、梅の花を好きにはなれませんでした。桜の花と違って華やかさがなく、どこかしら寂しげに咲いているような感じを受けたからです。

しかし昨年の大雪の時に、重たい雪が覆いかぶさっても一生懸命に花を咲かせていた梅を見たときに、自分を恥じたものです。

「梅は不平不満を言うこともなく、厳しい寒さを受け止めて、ただ時節を迎

えて花を咲かせた。俺は耐え忍んでいるか？花を咲かせているか？」

私たちは都合の悪いことに背を向けたり、自分と他人とを比べたり、天秤ばかりかけたりしがちであります。そして得意の時も失意の時も、心を一か所に留め置いて迷ってしまうことが、しばしばであります。

しかし思いどおりならないことに耐え忍ぶことや、どこにも偏らない、こだわらない、留まらない心を持つことの大切さを梅の花は教えてくれます。

都合の悪いことから逃げても本当の安らぎはありません。

簡単なことではありませんが、梅の花のように、都合のいいものも悪いものも両方とも受け入れて、そこにも心を留まらせない、そんな生き方をして心に花を咲かせたいものです。